

令和元年度 第2回東京都相談支援従事者研修検討会 議事録【要旨】

日時 令和元年8月13日（火曜日） 午後1時30分から午後3時まで
 会場 東京都心身障害者福祉センター 12階研修室
 出席者 佐藤委員、秋元委員、塚田委員、堤委員、杉田委員、池田委員、藤井委員、中島委員、
 花形委員、吉澤委員、北川委員
 傍聴 4名
 事務局 東京都心身障害者福祉センター地域支援課長森下 他5名

1 開会

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料確認 次第 資料1 令和元年度東京都相談支援従事者主任研修カリキュラム案 資料2 令和元年度東京都相談支援従事者主任研修 実施案内 参考資料 平成30年度東京都相談支援従事者研修演習指導者養成研修カリキュラム ・本日は、傍聴者がいること、また、記録のための録音及び今回の検討会議事録（要旨）は、ホームページ公開対象であることについてご了解いただきたい。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・次第の内容で議事を進める。 ・本日の議事は2つ ・1つ目が東京都相談支援従事者主任研修のカリキュラムを確定させること。 ・もう1つが来年度新たな形で実施する初任者研修と現任研修の教材確定を今年度末までに行わねばならないため、スケジュールと役割分担の確認。これについては、グループ討議で行うようお願いする。

2 検討事項

(1) 令和元年度東京都相談支援従事者主任研修カリキュラムについて

佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・主任研修チームから資料1 研修カリキュラムの素案について、説明いただきたい。 ・最後に質疑を交えて、最終確定させていただきたい。 ・まず、主任研修の目指すところ、カリキュラムの構成の全体の流れなどの説明を吉澤副委員長をお願いする。
吉澤副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の目的について、昨年度から国直営で主任相談支援専門員研修が始まり、今年度、都が実施すると決定したため、主任研修チームを構成して準備を進めてきた。 ・主任相談支援専門員は、基幹相談支援センターや特定事業所加算の指定を受けようとする指定特定相談支援事業所に配置されることが想定される。それは、自治体で人材育成や地域づくり等、リーダーシップをとっていく人材を養成するための研修と考える。 ・主任相談支援専門員研修については、国が示したシラバスに基づき準備を進め

吉澤副委員長	<p>てきた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 具体的なカリキュラム構成は資料1のとおり。ほぼシラバスどおりで東京都の研修を展開していく予定 各单元については、单元ごとの担当者から趣旨や講師、予定している内容等を後ほど説明させていただく。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> 説明があった、全体の目標、カリキュラム素案の目標、全体構成について質疑はないため、了承したい。 シラバスどおりのカリキュラム構成で今年度はスタートする、地域で中核を担う人材を育成することが目的であるということによりよろしいか。
各委員	<ul style="list-style-type: none"> 承認する。
吉澤副委員長	<ul style="list-style-type: none"> 今年度の定員、現在の応募状況等、事務局から説明を願いたい。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> 事務局から説明をお願いする。
事務局	<p>(資料2 説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> 8月5日から募集開始し、9月6日を締切りとしている。 対象者はアからエの要件を全て満たす者で、国の主任研修実施要綱に準じた考え方としている。 定員は100名としている。 地域の中核人材を育てるのが目的の研修であるため、本人及び事業所からの申込だけではなく、区市町村からの推薦も必須としている。 事業所からの申込書提出と区市町村からの推薦書の提出が揃って、研修の申込受付が完了となる。 区市町村に対しては、推薦事務の依頼通知に聴講の推奨も記載している。 想定としては、主任相談支援専門員の役割というコマがある研修1日目の聴講を推奨し、区市町村単位での相談支援体制の参考にしていただきたいと考えている。 詳細については、受講決定時に改めて連絡するとしている。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> 受講者の人数動向のようなものはあるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> まだ、募集開始したばかりなので少ない。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> 締切り間近に多く来ると考えられる。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> 次第の事前課題部分から、研修1日目、2日目、3日目、4日目、5日目について構成、カリキュラム内容を各委員から説明いただきたい。 事前課題については、主任研修チームの吉澤副委員長から説明願いたいがかがか。
吉澤副委員長	<ul style="list-style-type: none"> 事前課題が各单元に基づいているため、研修1日目から説明し、各单元の中でこのような事前課題があるという説明を提案したい。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> 流れがわかりやすいということで提案を受け入れ、まず1日目について吉澤副委員長から説明をお願いしたい。

<p>吉澤副委員長 (1日目)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・科目は「障害福祉の動向」、「主任相談支援専門員の役割と視点」、「相談支援事業における運営管理」となる。 ・「障害福祉の動向」については行政からの説明と考えている。 ・1日目の「相談支援事業における運営管理」から、5日目の「地域共生社会の実現」までの各単元が主任相談支援専門員の役割であり、その役割を果たしていく上で必要な視点であるため、各単元の要約のダイジェスト版をオリエンテーション的な意味も含め「主任相談支援専門員の役割と視点」の中に構成してはどうかと考えており、講義のみにするか、演習も行うかは検討中 ・「相談支援事業における運営管理」については、国研修の中でも労務管理に関して焦点がかなり当たっており、法令遵守し労働環境を整えないと、地域の人材確保や人材育成を促すことはできないだろうという前提だと考える。 ・事業所として労務管理を含む労働安全衛生を把握し、備えなければならぬリスク、リスク対応、働きやすい労働環境づくり等をこの単元で確認するという内容を話していただける方を講師として考えた。 ・運営管理については、災害時の対応をピックアップし講義することがシラバス上位置付けられているため、災害時に対し備えをされている事業所の方を講師として考えた。 ・1日目は以上となる。ここから、各日程担当ごとに内容を説明していただく。
<p>杉田委員 (2日目)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の支援及び地域づくりは、初任者研修、現任研修で行うが、主任研修では人材づくりの重要性を加え、2日目と3日目で人材育成を研修していく。 ・人材育成の意義と必要性について、主任としては、直接教えることではなく学習環境をデザインすることが必要という内容になる。 ・具体的な方法として、ファシリテーションとグループスーパービジョンがとても有効となるため、ファシリテーションについての演習を行いたい。 ・身近なところでの人材育成の必要性をそれぞれの地域で考えるにあたり、実践例の話題提供を行い、そのまとめをワークで行っていく中で2日目を終了し、3日目につなげる内容と考えている。
<p>吉澤副委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前課題についてはいかがか。
<p>杉田委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国研修で出された事前課題と同様とするが、身近な地域を限定した形で考えている。
<p>花形委員 (3日目)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現場教育の方法と展開として、スーパービジョンについて理論説明と類型紹介に関する講義及び演習を考えている。 ・人材育成のためにスーパービジョンを身につけるのではなく、主任相談支援専門員がスーパービジョンの手法を学んで持ち帰り、地域でどういうスーパービジョンの体系を築けるかということが視点となる。 ・事前課題については、内容等検討中

中島委員 (4日目)	<ul style="list-style-type: none"> ・「基幹相談支援センターにおける地域連携」について、基幹相談支援センターのスタンダードは何かという内容にしたいと意見があった。 ・基幹相談支援センターだけに焦点をあて、包括的な相談支援、本来の基幹相談支援センターの役割と実際の活動、主任相談支援専門員の関わり方をお話いただける方を講師に考えている。
池田委員 (4日目)	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域援助技術」については、東京都では初任者研修時点から地域への視点という内容を取り入れているため、研修体系をしっかりと網羅した形で地域援助技術として整理し、理解を深めるということをポイントにしていければ良いと考える。 ・講義の内容としては、他の施策との関係、具体的な地域援助の展開、協議会との連携、地域相談支援等を盛り込めればと考えている。 ・「地域援助の具体的展開」については、事前課題を踏まえた演習を4日目と5日目に行う予定
中島委員 (5日目)	<ul style="list-style-type: none"> ・「多職種協働のチームアプローチの考え方と展開方法」については、講義と演習の形で行い、主任としての多職種協働は、どのような形で相手に対してや地域全体で円滑に進むようにアプローチしていくかという内容を考えている。 ・単純に多職種協働を進めていきましょうというよりは、主任という主語があり、活動をどのように展開していくか考える内容となる。 ・「地域共生社会の実現」については、国研修では「共生社会とは」という内容の講義だったが、東京都の研修としては、共生社会の実現に向けて地域で活動している方の実践例を踏まえる形を考えている。 ・今までの研修で学んだ「主任相談支援専門員としてあるべき姿」と重ね、自分の地域での参考として持ち帰ることを考えている。 ・最後のまとめとして、ただ終わらせるのではなく、5日間の振り返りや、地域に帰った際の展開方法など投げかけていくような形で終わらせることを考えている。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・全体のカリキュラムの流れと事前課題について説明いただいたが、質疑や詳細を聞きたい箇所はあるか。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・3日目について、スーパービジョンの類型紹介の時間配分等はどうなるか。
花形委員	<ul style="list-style-type: none"> ・理論のところでは全類型を説明するが、演習はそこから選択して行う。
塚田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・全体で国が示した時間数より多くなるのか。
中島委員	<ul style="list-style-type: none"> ・最後のまとめの部分30分が国で示した時間ではなく、超過した形となる。
藤井副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・4日目の基幹相談支援センターについては、行政とのつながり方、上手に一緒にやっていくということを少し全面に出した内容になると良いと考える。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・4日目については、意見を反映した調整をお願いしたい。
北川委員	<ul style="list-style-type: none"> ・100名の規模で何グループ想定か。来年度の見込みはどう考えているか。グループは当初3名グループという話だったと思うがいかがか。

中島委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークする時は3名に分かれることも多いが、6名が1グループという形。100名で何グループできるかは想定していなかった。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・最大で16グループになる。
北川委員	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度の募集は同じ規模で考えているか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度のことは、未定。受講要件をクリアしなければならないため、申し込んだが対象外だったという方もいることを含め、今年度と同規模がベースと考えている。
中島委員	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者としては、指導的役割を地域で担っていないと、研修のプログラム自体に乗れない内容となっている。 ・免許的に考えている方には乗れない5日間という想定を各自治体がどこまで理解し、推薦事務を行ってくれるかは少し心配もある。 ・実際に主任相談支援専門員として活躍できる層が各自治体に何名ぐらいいるのかと予想すると、今回100名養成したとして、来年度は本当に少ないのではないかと考える。 ・毎年100名を量産するというものでもないと思うので、何かの方法で東京都の中での必要数を把握できれば、来年度の人数規模も含む検討内容にも参考にできるとは考える。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度については、人数把握をできるようにお願いしたい。
花形委員	<ul style="list-style-type: none"> ・主任ケアマネと同じような形だとすると、いつかは更新制になったりするのかな疑問。 ・現在、地域で人材育成を行っていて個別支援からは離れている経験豊かな方もいるが、このままの主任研修の受講要件だと主任研修が受けられなくなってしまう。 ・現任研修を受ければ、初任者研修を受けなくていいので、同様に主任研修を受け、更新していけば、現任研修を受けなくてよくなるということはないか。
花形委員	<ul style="list-style-type: none"> ・受講要件に当てはまらない方はどうなっていくのか。現任研修を受講したという要件は外れないのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の研修制度ではそうなっている。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種協働については、現任研修で実施しているレベルと主任研修で実施するレベルの切り分けの難しさがあると思う。 ・多職種協働自体が切り分けは難しいと考えるが、主任がやっていくものの落とし込み方は、どのように考えているか。
中島委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークの内容で現任研修と主任研修の視点の違いがわかればと考える。
吉澤副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種協働に限らず、主任としてのスタンスを伝え続けることになると思うので、その点で、現任研修とのすみ分けがハッキリできるのではと考える。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパービジョンにおける協働はイメージできるが、多職種協働は難しいと考える。今後、検討される部分だと考える。 ・他に質疑がなければ、主任研修カリキュラム案を確定させたいがいかがか。

各委員	・承認する。
佐藤委員長 佐藤委員長	・これで内容は確定するが、詳細については、未確定なことも多いので、資料1については、非公開とする。
佐藤委員長	・主任チームは原稿作成を9月5日までにお願ひする。

(2) 今後のスケジュールについて

佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・今後のスケジュールということで、次第(2)に移る。 ・来年度の初任者研修及び現任研修は新カリキュラムとなるが、教材を今年度中に確定させなければならない。 ・教材作成についてグループごとにスケジュール案と役割分担を検討し、45分から50分になったら、初任者研修は堤副委員長に、現任研修は藤井副委員長に報告をお願ひする。
(グループに分かれて意見交換)	
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに検討した内容を共有し、意見交換したい。 ・初任者研修チーム、堤副委員長に報告をお願ひする。
堤副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・時間数が3日間から2日間と11時間に減るが、9月11日から13日に開催する国研修での内容によるため、国研修が終わった段階の9月24日に再度集まり検討する。 ・課題として、ファイブピクチャーズをわかりやすくできるか、ファシリテーターの育成、指導者養成研修と初任者研修のつながりも併せて検討し、年度末までのスケジュールもある程度作成する。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・続いて、現任研修チーム、藤井副委員長に報告をお願ひする。
藤井委員	<ul style="list-style-type: none"> ・9月11日から13日の国研修を待つが、講義は確定できる部分があると思うので10月の検討会の後にチームの打ち合わせを行う。 ・昨年度、検討に協力いただいた方と、今年度の国研修受講者に協力いただき、講義と演習を作成したい。 ・10月8日は、再度、全体イメージを持つために全部のカリキュラムを振り返り、11月にチーム会議を持つ。2月には講師の選定があるので、それまでに決める予定
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・補足、質疑はないため、本日の検討事項は終了。事務局へ返す。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・検討会設置要綱差替えについて説明 ・現任研修準備状況について報告 ・専門コース別研修準備状況について報告 ・国研修受講者推薦手続きについて進捗状況報告 ・演習指導者養成研修準備状況について報告

3 閉会